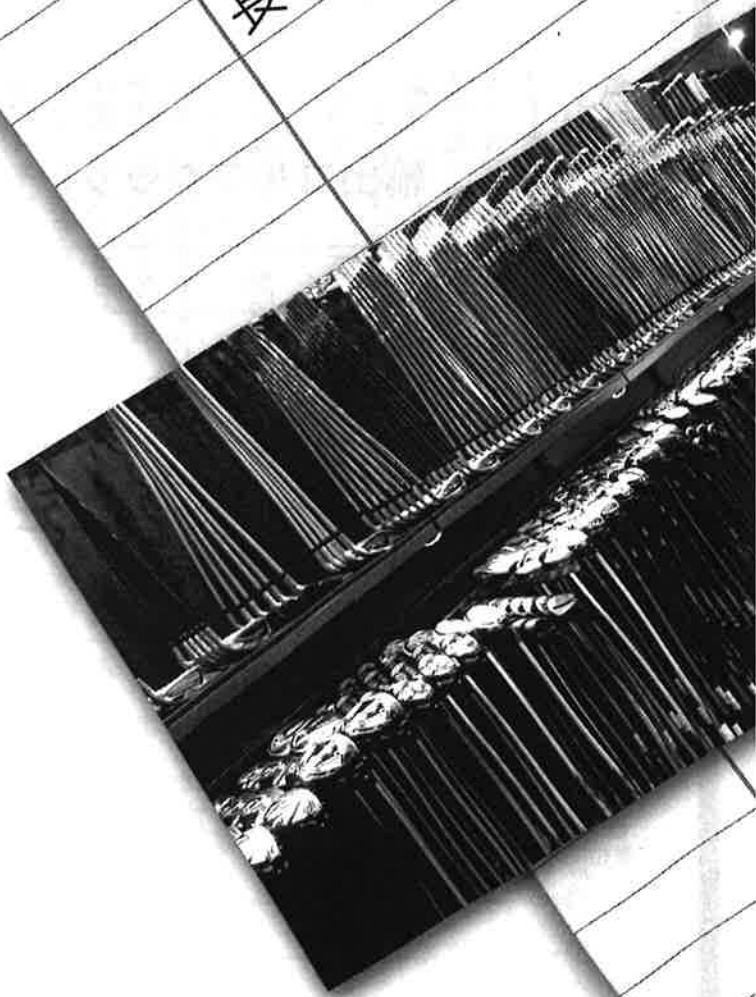


編集会議

いよいよわからない
長丈規制の対応法



記者C え、実はわたし……、初めてホールインワンを達成しましたッ！

記者B どこでやったの？

記者C 武蔵丘GCの12番ショットで、雨中のカップインです。

記者A おめでとう。だけど、ホールインワン保険は？

記者C もちろん入ってます。傷害保険にプラス6000円で20万円までカバーできます。SNSで拡散されたので、ちょっと怖い気がするんですけど……。

記者E子 あの、ホールインワン保険って何ですか？

記者C まあ、日本独自の慣習というか、ホールインワンを出したひとが、ゴルフ仲間にはプレゼントするわけ。「皆さんのお蔭で達成できました」という感謝の気持ちで雑貨や商品券を進呈する。そのお金を保険でカバーできる。

記者E子 えっ、逆じゃないんですか？ 達成者が祝ってもらうのが普通だと思えますけど。

記者A そろそろ日本のヘンなところで、達成者をご祝儀をバラ撒くわけ。コレやらないと「あいつはセコイ」とか思われるから、おめでたいのに保険に入って、事故み

たいに保険金を出してくれる。

記者E子 ふ〜ん。Aさん、ホールインワンのご経験は？

記者A ありません。

記者E子 保険は？

記者A 入ってません。

記者E子 出ちゃったら？

記者A トボケます。そもそもヘンな慣習なんだから、セコイと思われても構わない。まあ、同伴プレーヤーと食堂で騒いで、ノミシ口ぐらいは払うとかね、それでいいと思っています。

記者D クラブは何番ですか？

記者C 距離は145ヤード、二木ゴルフで買った『オノフ』の7番アイアンだった。ボールはBSの『ツアーB330s』で、タイガー・ウッズと同じだよ。

記者A タイガーか……、彼も大変だよな。

一同 ……。

記者D 大変といえば、ゴルフスタジアム(GS)問題が法廷闘争に入りましたが、GSはレッスンプロに対する「小口リース問題」とは別に、大手通信社からも4億超の裁判を起こされて、5月に支払い命令が下されたそうです。

記者B Aさんはこれまで、GS

問題を追い駆けてましたね。

記者A もはやGSは四面楚歌だけど、西村弁護士が主導する「集団訴訟」は信販会社が相手で、詐欺性が疑われながらも多くのレスンプロにローン契約を結ばせたことが最大の争点になる。推定被害者1000人超で、40億規模の被害だと主張しているけど、GSから取れるとは思ってない。

記者D 複数の工房関係者から「自分は大丈夫だけど、知人の工房が困っている」と、かなりの問い合わせがありました。

記者B 自分ではない、と。

記者A 仮に巻き込まれても、そうだとは言えないよね。信用不安や流言が飛べば、銀行や取引先から敬遠される。仮にブラックリストに載ってしまえば、ヘタすりゃケータイが止まるかもしれない。まさに死活問題だよ。

記者C これほど深刻な問題なのに、大半のゴルフ雑誌は簡単な報告記事だけで、きちんと取り上げてないですよ。

記者A それと、PGAやLPGAの会員も被害に遭っているけど、協会の基本対応は「自分の責任」ということで、自己責任論が

ン修...して作てすか?

大半を占める。LPGAが事件直後、会員に送った「注意喚起メール」がうちにも転送されたけど、「協会は関知しません」みたいな内容でね。被害者にも非はあるけど、総じて冷たい印象がある。

「A-1フィッティング」 商標取るうか?

記者A それはともかく、先月号の特集は労作だったねえ。

記者B でしょ。書いてみて思ったのは「吊るし」から「オーダーメイド」への移行が、想像以上のスピードで進んでいる。あの記事は売り場中心でメーカーには触れなかったけど、ヤマハやホンマは重量、長さ、バランス、グリップの挿し方まで「個別設定」で、最短3日で納品できる。フィッティングの世界は加速度的です。

記者A ヨネックスは中1日で納品できると話している。

記者D ヨネックスも早いんですが、ピンは全世界48時間のカスタム対応をやっています。

記者A でね、この言葉はどこも使っていないんだけど、「A-1フィッティング」が極めて近い将来実

てたしのに傍陸に入てて 事故み

現するんじゃないか。個人的にはそんな確信があるんだけどね。

記者C 商標、取りましようよ。

記者A そうだね。A-1はビッグデータが溜まるほど深層学習が勢いづくから、フィッティングの世界はかなり面白い。

記者E子 あの、フィッティングって言葉ですけど、わたし自身、じっくりこないんです。クラブが自分にフィットする、というよりも、マッチするとかカスタムのほうがいいような...。

記者D なるほど、スキー板はカスタムだよ。靴はシューフィッティングだけど、クラブで「フィッティング」になったのは、**記者C** ゴルフ5の「トライフィット」からかなあ。

記者D 工房の「カスタム・フィッティング」が、後の部分だけ一人歩きたのかもしれない。
一同

記者A ま、いいんじゃない。それよりBSが「PHYZ」でやった「3球診断」は、まさにA-1フィッティングのハシリじゃないか。2年前の説明ではチンプンカンプンだったけど、今となればわかるような気がするよね。

記者E Aさんにこまてて CS

記者D ただ、技術が進歩するほど規則との乖離が大きくて。

記者B つまり?

記者D R&Aが出した「46インチ規制案」は初歩的な部分の問題視されて、JGGAの担当委員も頭を抱えているんですよ。最大の問題は長さを測る方法が「R&A方式」と「JGGA方式」に分かれています。

記者A R&Aはソールを斜めの板に着けた箇所からグリップの突端まで、JGGAはシャフトの中心軸がソールに接する部分を基点にして測る。

記者B なんで違うの?

記者D R&A方式は計測法ではなく「合否判定法」というもので、一方のJGGAは、アイアンのセッティング等を考えれば我々の方式が正しいと。

記者A 議論が噛み合わない。

記者B そんな状況で長さ規制をやって大丈夫なの?

記者A まったく大丈夫じゃないだろうね。むしろ、高反発規制の導入時よりもワケがわからなくて規則をきちんと守ろうとするほど混乱が激しくなるだろうね。

記者B 今回の特集はそれでしょ。